

学校名 桶川市立川田谷小学校
所在地 桶川市川田谷4213番地
電話 048-786-1335

1 本校の概要

本校は、桶川市の西側に位置し、開校148年の歴史のある、地域に深く根付いた学校である。保護者や地域の方々は、学校の教育活動に協力的で、家庭や地域と連携して教育活動を実践している。目指す学校像は、「笑顔とあいさつ、学びがあふれるきれいな学校」であり、生徒指導や学習指導、環境整備に力を入れている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

読書に親しむ態度を養うために、学校図書館教育補助員と全教職員との協働や、地域の方々の協力により、下記のことを実践した。

ア 読書タイムの充実

毎週月曜日の朝に15分間の読書タイムを設定し、学級文庫や学校図書館で借りた本や、家から持ってきた本を静かに読む時間とした。

イ 地域の図書ボランティアの方々による読み聞かせ

「桶川子ども本の会」の方々の協力で、低学年は年に5回、中・高学年は年に3回実施した。各学年の発達段階や季節等に合わせ、1～3冊の本を読み聞かせをしていただいた。

ウ 読書月間（11月）の取組

① 読書の木の掲示

各クラスのドアに「読書の木」を掲示し、本を1冊読んだら、りんごやみかん、葉の形の用紙に本の題名や感想、冊数を書き、木に貼り重ねていった。

② 読書集会

「3びきのヤギのがらがらどん」をアレンジした劇を図書委員会の児童が行った。劇の中で、本に関するクイズや読書月間の取組の紹介なども行った。コロナ禍のため、発表を撮影し、その動画を各クラスで見た。

③ 図書委員会による読み聞かせ

1、2年生のクラスに、図書委員が紙芝居や大型絵本の読み聞かせを行った。

④ 先生方のおすすめの本の紹介

全教職員が学校図書館にある本の中から、おすすめの本を一冊選び、紹介カードを作成した。そのカードを、おすすめの本と共に、学校図書館や低学年用の図書コーナーに展示し、貸出ができるようにした。



エ 環境整備

学校図書館教育補助員と連携して、学校図書館に季節の掲示や新着図書コーナーの設置、図書委員のおすすめの本などの掲示をした。また、学校図書館から遠い低学年の校舎には、図書コーナーを教室前の廊下に設置し、たくさんの本に触れられるようにした。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

読書タイムや読書の木の取組により、児童が読書をする機会を増やすことができた。読み聞かせや先生方のおすすめの本の紹介では、児童が自分では選ばない本に触れる良い機会となり、児童の本への興味を広げることができた。

(2) 課題

さらに読書を楽しんだり本を活用したりしていくために、学級文庫の定期的な入れ替えや、授業での具体的な活用例を発信していく必要がある。また、休み時間に学校図書館を利用する児童に偏りが感じられるため、クラス単位での学校図書館の利用の奨励や、学校図書館の環境整備も引き続き行いたい。

(3) 終わりに

児童が読書に親しみ、読書の習慣を身に付けられるように、今後も学校全体で読書活動を推進していきたい。